TOTO

ウォシュレット® 一体形便器（床排水）

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「禁止」を示します。	❗	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

⚠注意

禁止	**便器に強い力や衝撃を与えない** 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 水が噴き出します。
必ず実行	**設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する** 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に行う 故障や水漏れの原因になります。

2 部品の確認

※部品があるか、下表を参照して確認してください。

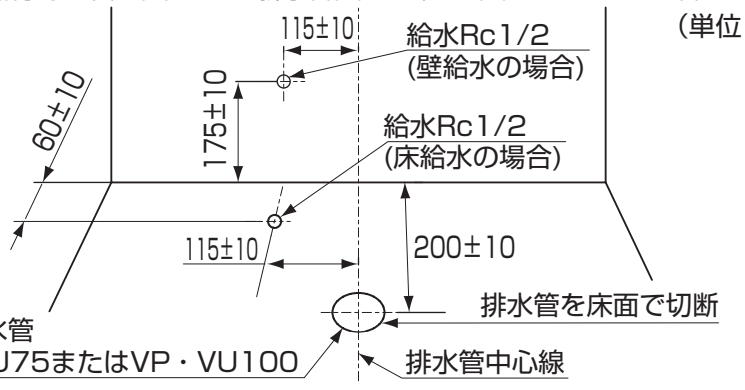
名　称		個数	略　図	備　考
便　器		1個		質量：30kg
排水ソケット本体（ゴムジョイント付き）		1個		
アダプター（VU75,VP100,VU100用）		3個		
固定金具	六角ボルト	2本		
	止め金具	2個		
	ナット	2個		
	ワッシャー(排水ソケット用)	2枚		
	木ねじ(排水ソケット用)	5本		十字穴付きタッピンねじ トラス 4種　φ6×40
固定片	固定片	1個		
	接着ブロック	1個		
	木ねじ	2本		十字穴付きタッピンねじ トラス 4種　φ6×40
施工説明書		1部	本紙	
位置決めシート		1枚		
パネル すっきり	すっきりパネル（左）	1個		面ファスナー付き
	すっきりパネル（右）	1個		
給水接続部	止水栓（パッキン付き）	1箱		ヒーター付き便器方式には Ⅰ型の取り出し管のみ同梱
	給水ホース	1本		組み立て済み
開閉工具		1個		組み立て済み

※開閉工具は必ずお客様にお渡しください。

3 取り付け前のご注意

■取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
※室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保してください。
（壁が変色する原因になります）
※Aタイプについて、窓枠、棚、収納キャビネットなどと便ふたの干渉にご注意ください。便ふたが当たって開ききらないことがあります。
（棚、収納キャビネットは下端FL＋1200mm以上を目安としてください）
■止水栓を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
■施工前に、給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置にあることを確認してください。

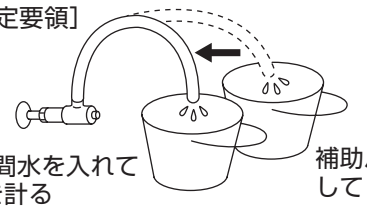
（単位：mm）



※右給水(CS966BW)の給水位置は、左給水の対称位置になります。
※右給水の場合は別途、給水延長用ホース(TN111L60)が必要になります。
■設置前に水圧を測定ください。
最低必要水圧：0.07MPa（20L／min流動時）が必要です。この水圧を確保できないと汚物を排出しないことがありますので注意してください。最高水圧は0.75MPaです。
注1：洗面所や浴室など他の水栓器具を同時に使用したときも、上記水圧と流量が必要です。
注2：配管は呼び径13以上をご使用ください。（上記水圧と流量の確保のため）

〈バケツによる簡易測定方法〉

[測定要領]



下表の水量があれば最低必要水圧は確保できています。

止水栓のタイプ	水量(10秒間)
本商品同梱の止水栓	5.5L以上
ロータンク用止水栓（壁給水）	4.5L以上
ロータンク用止水栓（床給水）	4.0L以上

〈水圧測定専用治具による測定方法〉

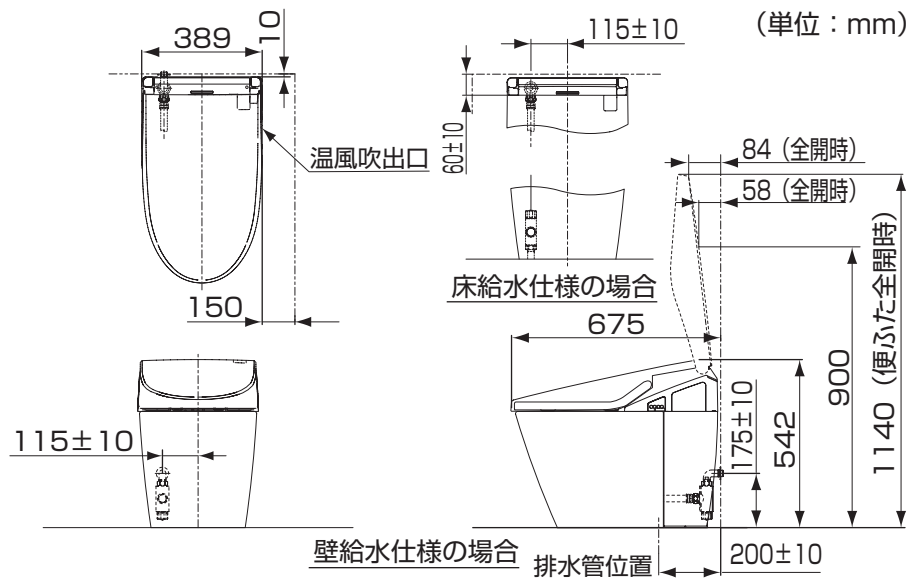
HH15003(希望小売価格¥5,400(税抜))を利用する。
(HH15003に止水栓は含まれておりません)

※品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

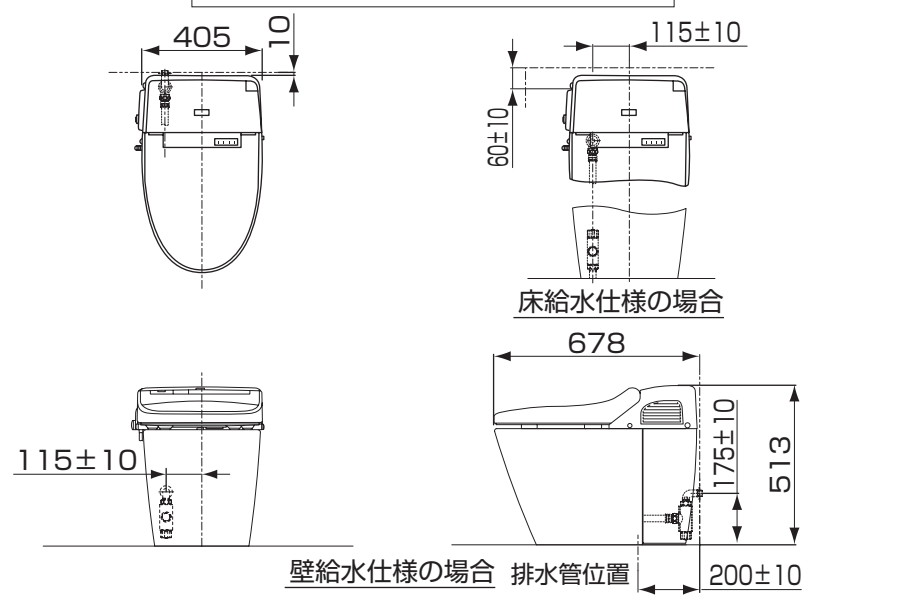
商品セット図

施工完了図（Aタイプの場合）

（単位：mm）

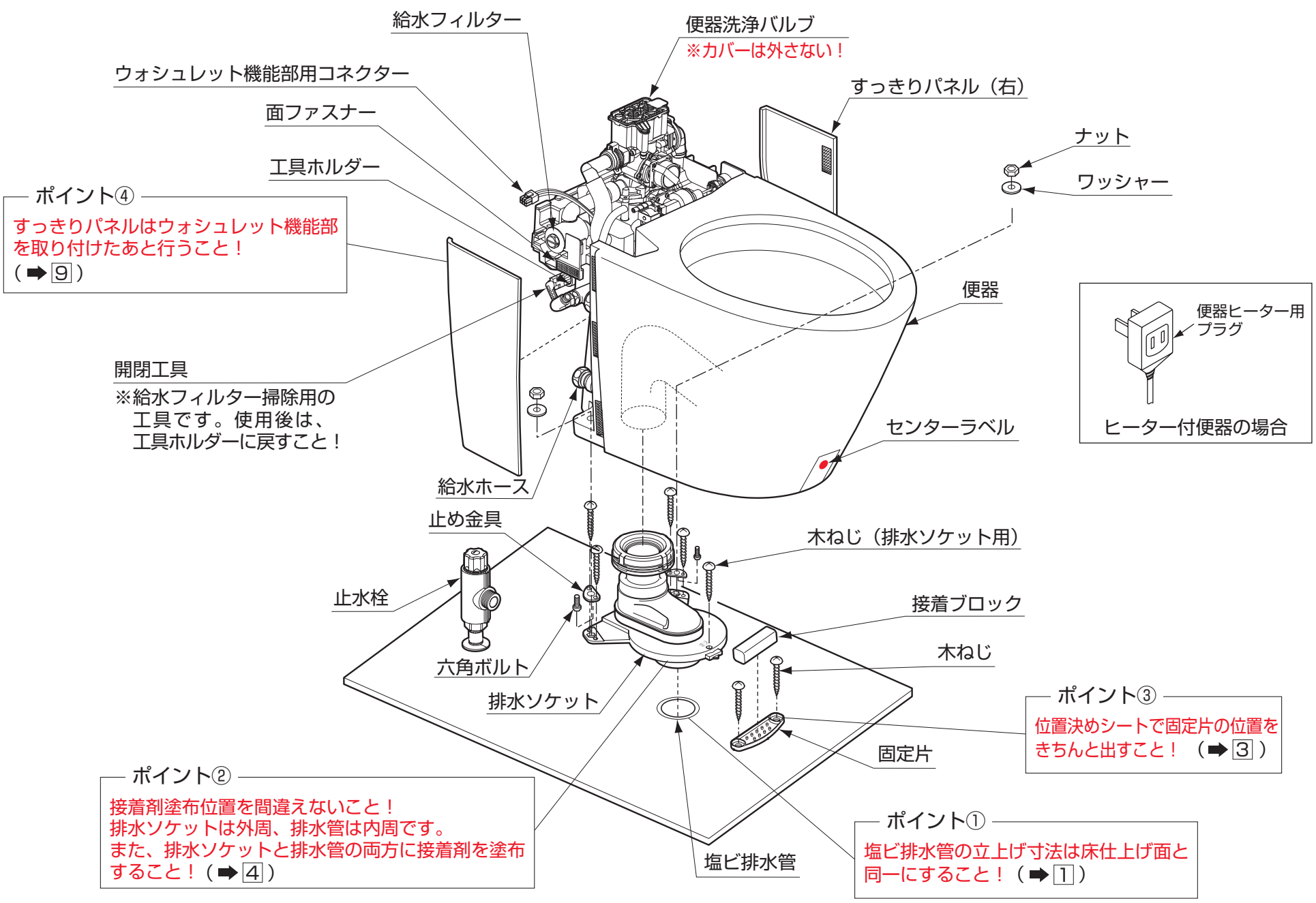


施工完了図（Dタイプの場合）



※寒冷地（水抜方式）の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。
水抜きハンドルはパネルと干渉しない位置に立ち上げてください。

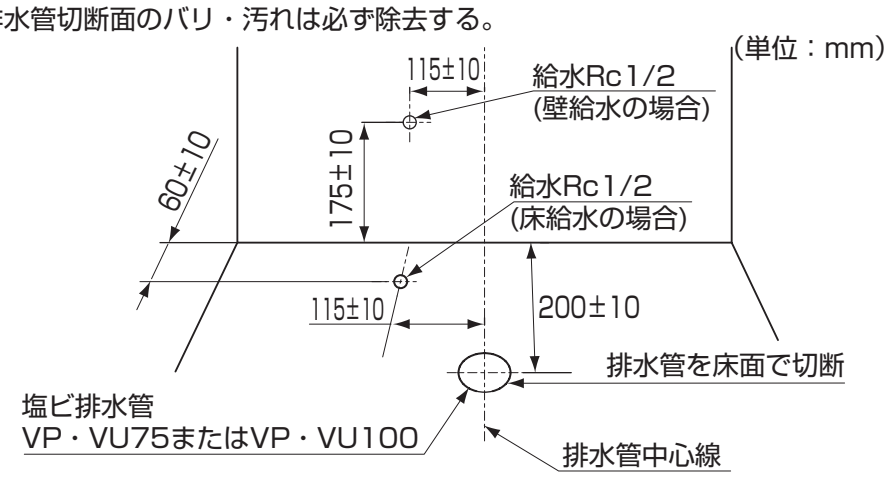
4 各部の名称と施工のポイント



5 施工要領

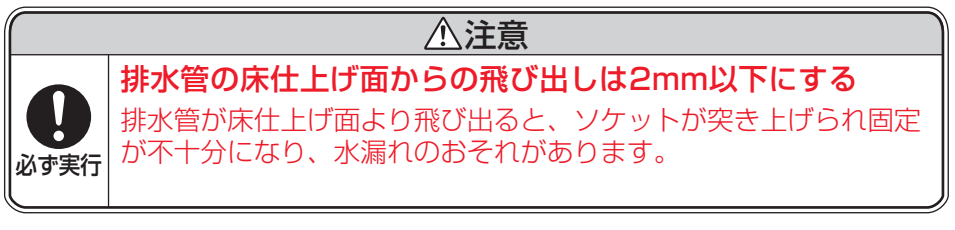
1 給・排水管の取り出し

①給・排水管を所定の位置に取り出す。
②塩ビ排水管（VP・VU75、またはVP・VU100）を床面と同一面で切断する。
③排水管のセンターを出して、床面に便器中心線をけがく。
④排水管切断面のバリ・汚れは必ず除去する。



※寒冷地（水抜方式）の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。
水抜きハンドルはパネルと干渉しない位置に立ち上げてください。

⚠注意



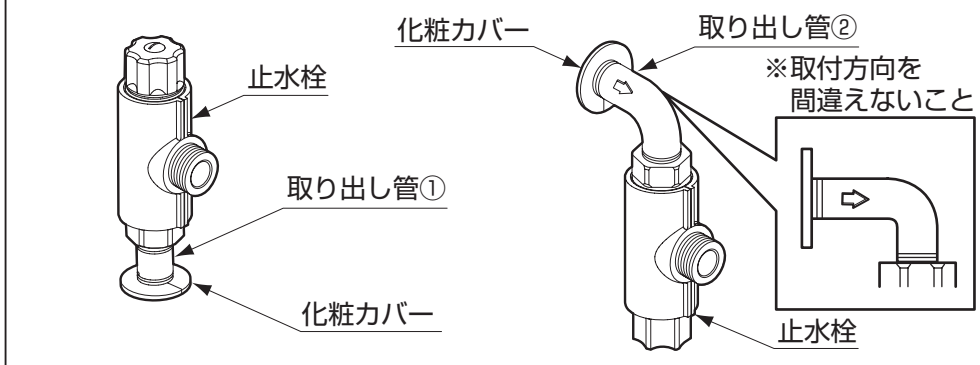
排水管の床仕上げ面からの飛び出しは2mm以下にする
排水管が床仕上げ面より飛び出ると、ソケットが突き上げられ固定が不十分になり、水漏れのおそれがあります。

2 止水栓の取り付け

■止水栓を所定の位置に取り付ける。

床給水の場合
①取り出し管①を使用する。
②化粧カバーを取り付ける。

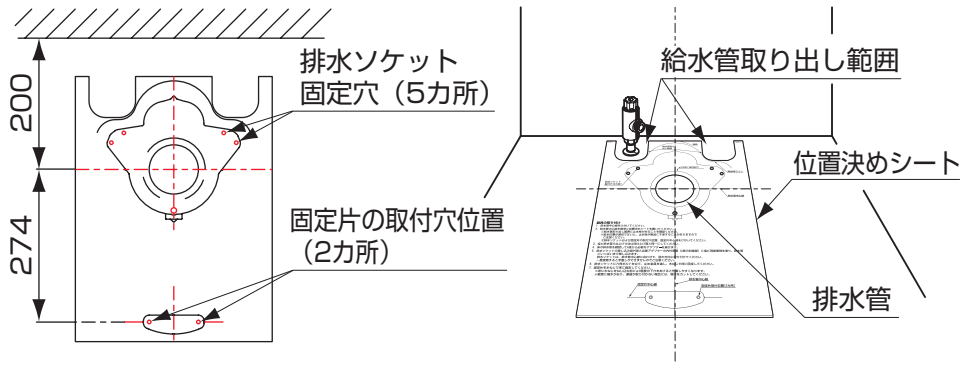
壁給水の場合
①取り出し管②を使用する。
②化粧カバーを取り付ける。



※寒冷地（水抜方式）の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。
水抜きハンドルはパネルと干渉しない位置に立ち上げてください。
※取り出し管のねじ部にはシールテープを巻いて取り付けてください。

3 位置決めシートで固定穴位置をけがく

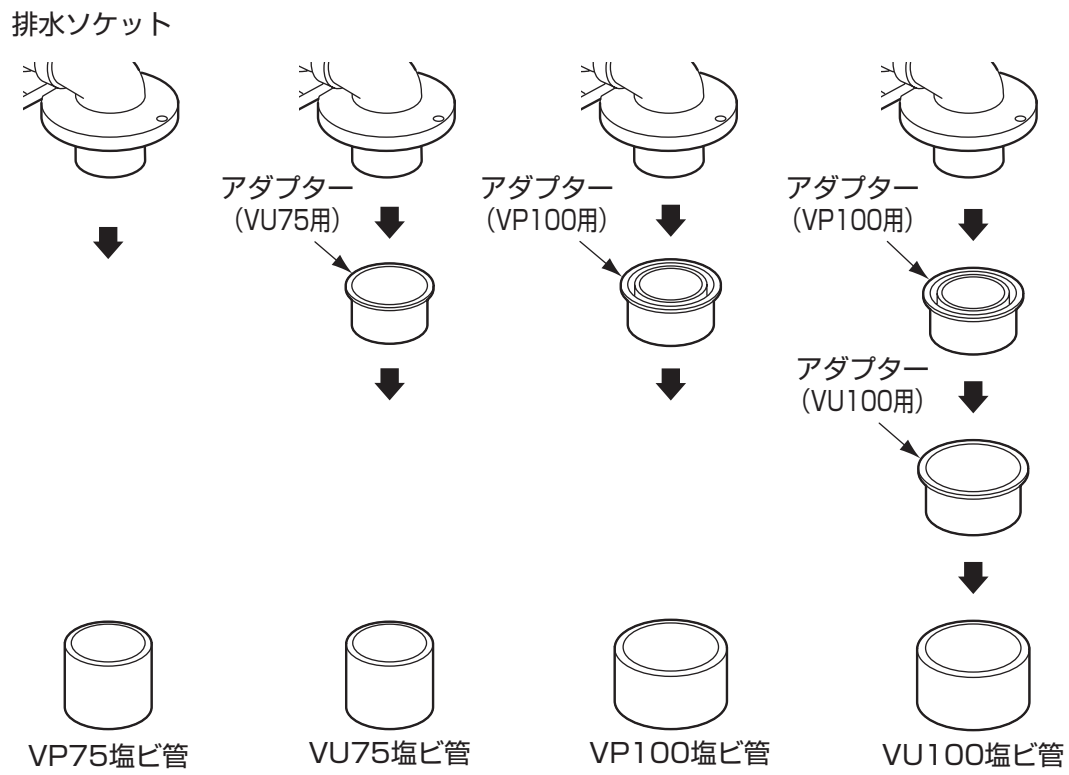
①位置決めシートを排水管の中心線にあわせ床面に置く。
②給水管取り出し範囲に止水栓があることを確認する。
※給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉することがありますので、ご注意ください。
③排水ソケットおよび固定片の取付穴位置、固定片中心線をけがく。



裏面につづく➡

4 排水ソケットの接着

①排水管がVP75以外の場合は、アダプターを塩ビ用接着剤で排水ソケットの接続部に接着する。
②排水ソケットと排水管の接続部に塩ビ用接着剤を塗り、排水管に押し込む。

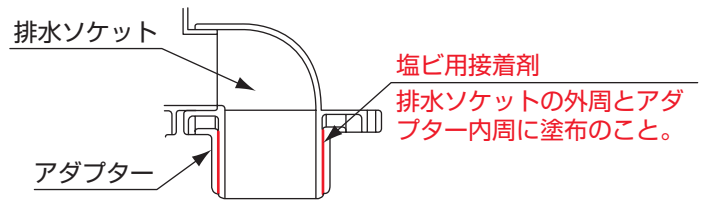


⚠注意

必ず実行

- **排水ソケットとアダプターは塩ビ用接着剤で接着のこと**
- **接着剤の塗布面は汚れを取り除き、排水ソケットとアダプターの両方に接着剤を塗布すること**

接着が不十分だと臭気・水漏れのおそれがあります。

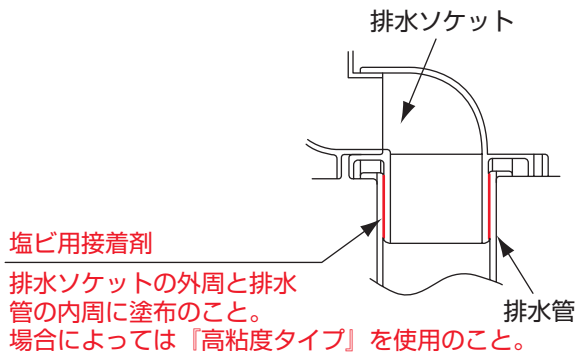


- **排水管の切断面のバリ、汚れは必ず除去する**
- **一度接着すると、手直しができませんので注意する**
- **排水ソケットと排水管のはめあいがゆるい場合は、必ず『高粘度タイプの接着剤』(HH05062)を使用する**

一般タイプの接着剤では臭気・水漏れのおそれがあります。

- **接着剤は、排水ソケットと排水管の両方に塗布する**

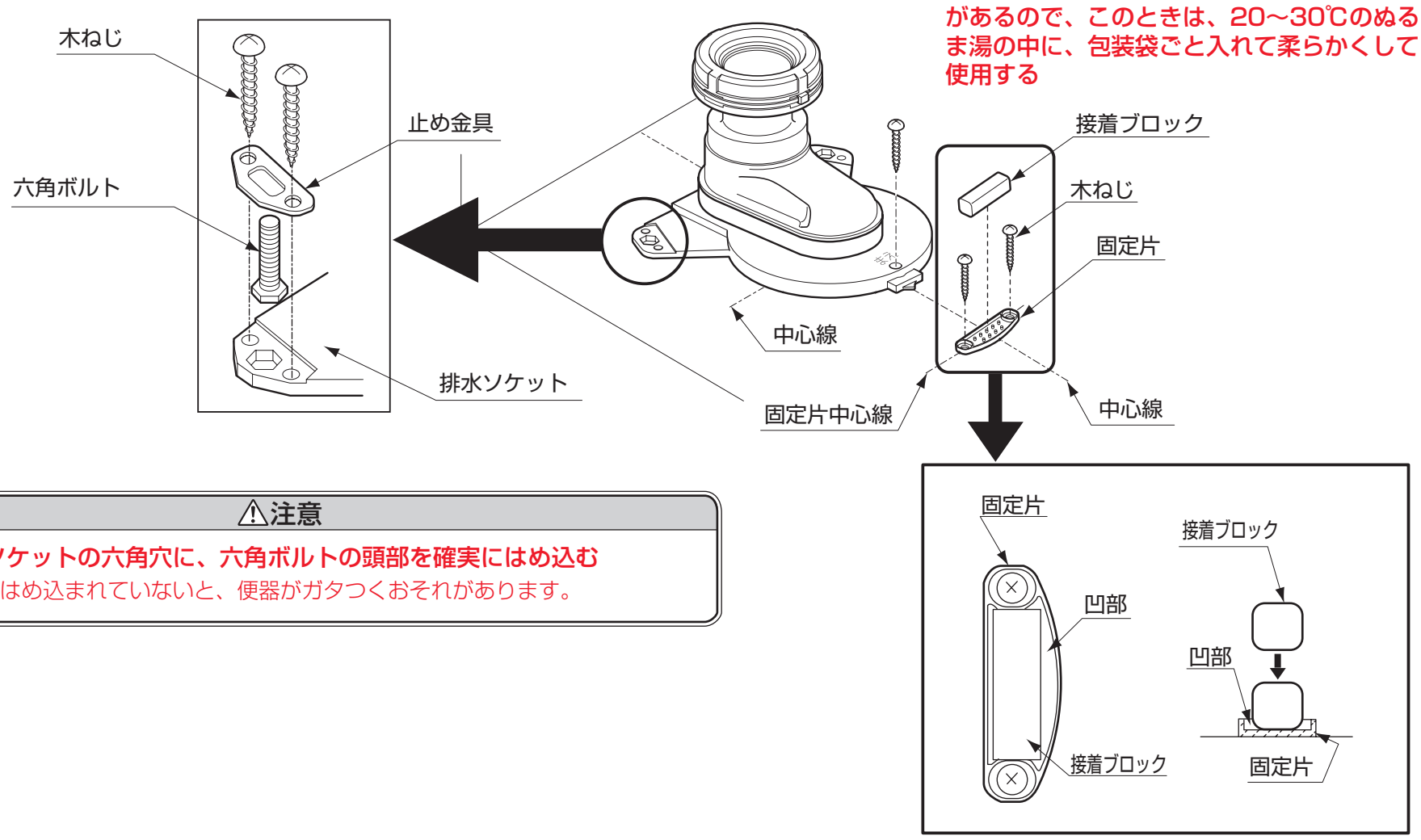
接着剤の塗布位置を間違えたり、片側のみ塗布したりすると臭気・水漏れのおそれがあります。



5 固定片・排水ソケットの取り付け

①7カ所の固定穴位置にφ3の下穴をあける。
②排水ソケット後固定部は所定の位置に六角ボルトを立て、六角ボルトに止め金具を通したうえで、木ねじで床に固定する。
③排水ソケット前側を、木ねじで床に固定する。
④固定片を固定片中心線にあわせて、木ねじで床に固定する。
⑤固定片の凹部に接着ブロックをセットする。

気温が下がると接着ブロックが固くなることがあるので、このときは、20～30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用する



⚠注意

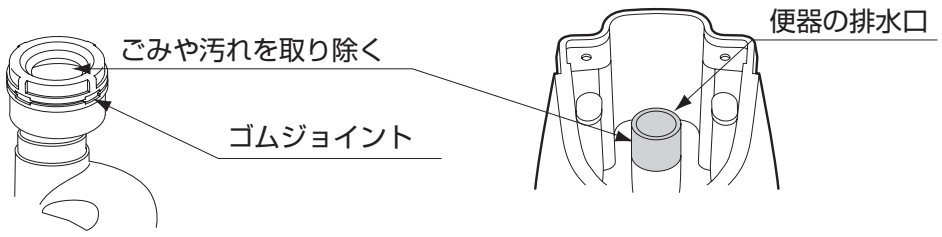
必ず実行

排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にはめ込む

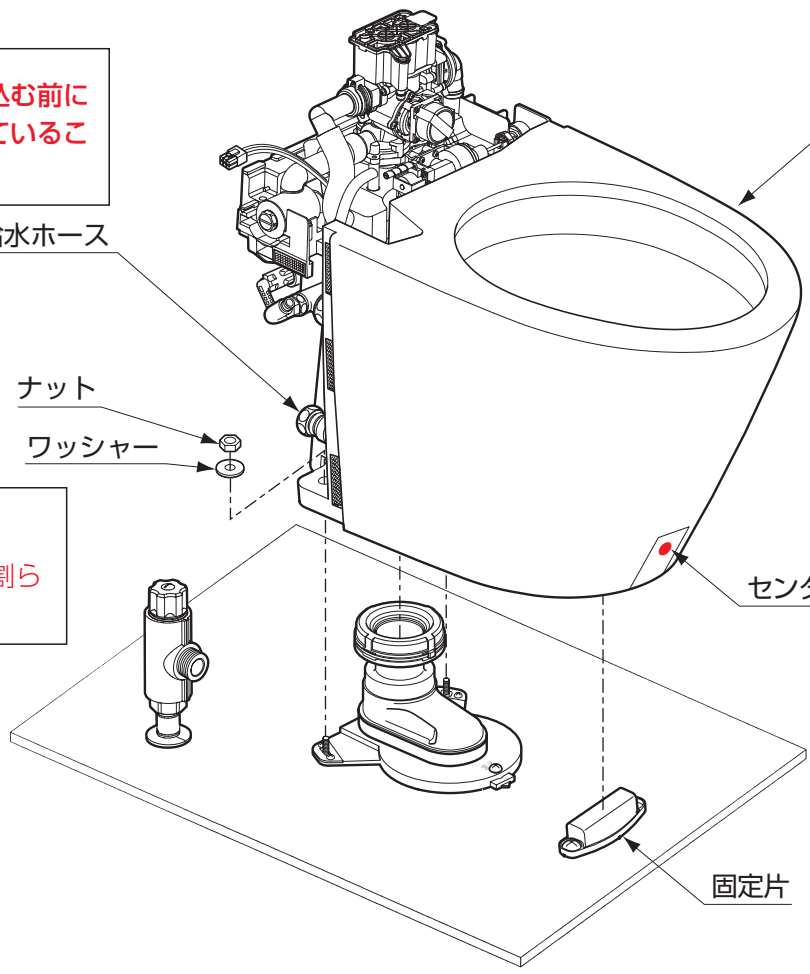
確実にはめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

6 便器の取り付け

①便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除き排水口を排水ソケットに差し込む。
②センターラベルを基準に便器の位置を微調整し、センターラベルをはがしたあとに、便器が床につくまで、しっかり便器を押さえる。
③便器側の取付穴（2カ所）をワッシャー、ナットで排水ソケットに固定する。



注意1
便器を排水ソケットに差し込む前に給水ホースが便器の外に出ていることを確認すること



注意4
便器が床につくまでしっかり便器を押さえること

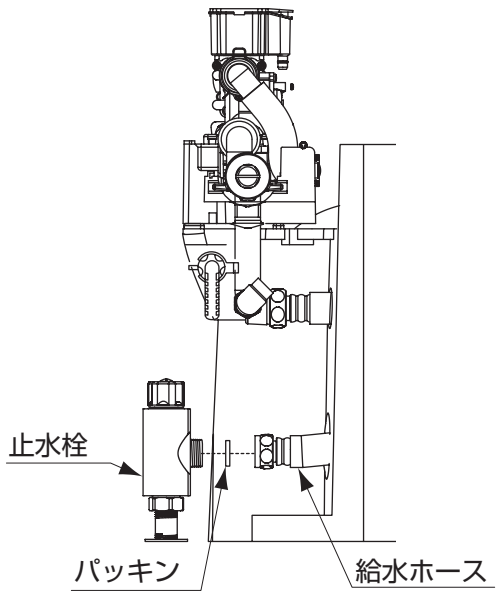
注意2
ナットを確実に締めること
ナットを締めすぎて便器を割らないように注意すること

注意3
センターラベルを基準に便器の位置を微調整すること
位置合わせ後、センターラベルをはがすこと

※壁面に幅木があり便器が取り付かない場合には、幅木をカットしてください。

7 給水ホースの取り付け

■給水ホースの袋ナットにパッキン※を入れて止水栓に固定する。
※止水栓に同梱しています。

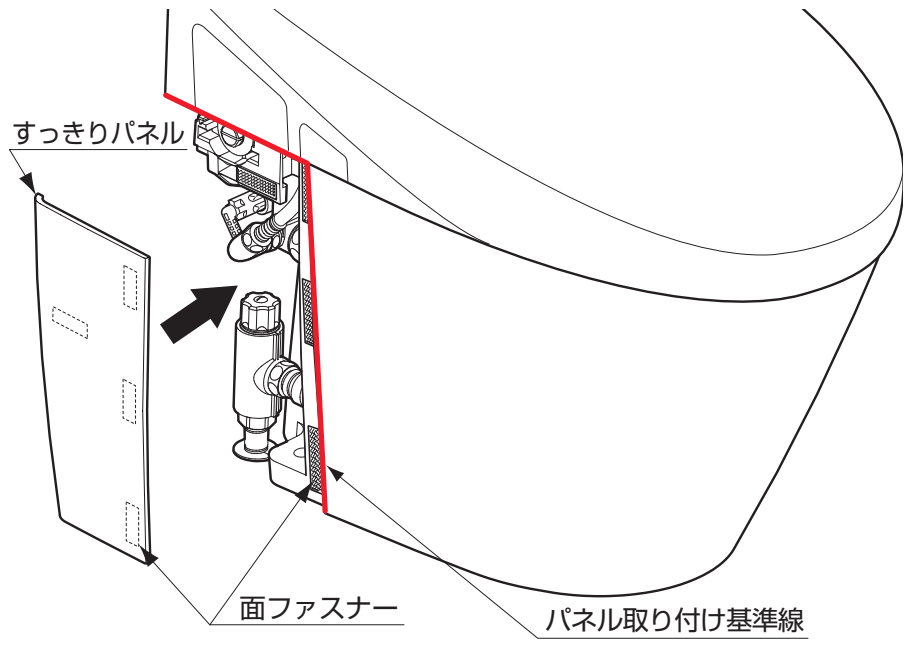


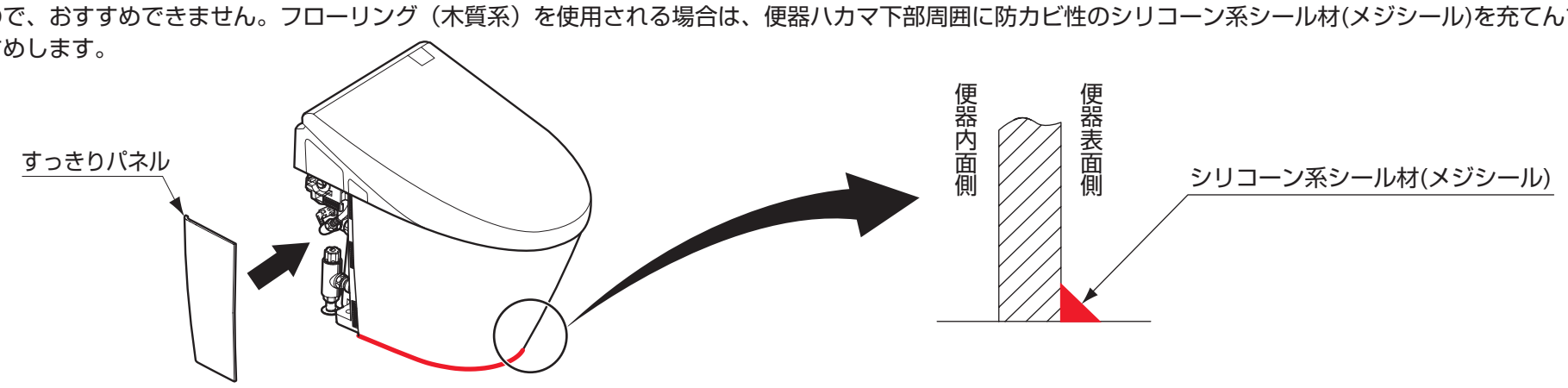
8 ウォシュレット機能部の取り付け・試運転

■ウォシュレット機能部同梱の施工説明書を参照のこと。

9 すっきりパネルの取り付け

■ウォシュレット機能部の試運転確認後、すっきりパネルをパネル取り付け基準線（赤線）にあわせて取り付ける。
※このとき、面ファスナー部（4カ所）をしっかり押さえてください。



お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング（木質系）を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。フローリング（木質系）を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコーン系シール材(メジシール)を充てんすることをおすすめします。